

千葉大学医学部附属病院で化学療法・免疫抑制療法による 治療をされた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026 年 6 月 25 日

薬剤部

薬剤部では、B 型肝炎再活性化を防ぐための取り組みを行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2023 年 1 月 1 日～2026 年 6 月 24 日の間に化学療法または免疫抑制療法を
施行された方

1. 研究課題名

「RPA を用いた HBV スクリーニング未実施患者の検出体制の構築」

※RPA (Robotic Process Automation) とは、コンピューター上で行う定型的な作業を自動化する技術です。

2. 研究期間

2026 年承認日～2031 年 12 月 31 日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

化学療法または免疫抑制療法等の免疫を下げる可能性のある治療を行う際は予め B 型肝炎の感染の状態を検査し、感染していない状態であることを確認する必要があります。万が一検査が実施されず、B 型肝炎に感染した状態でこれらの治療を行うと劇症肝炎等の重篤な状態になる可能性があります。

我々は検査の実施漏れを防ぐために検査が必要と思われる患者さんを自動的に抽出する体制を構築しました。この手法を用いて、実際の検査実施率を調査し、有用性を検証することを目的に本研究を行います。研究の手法としては、対象患者さんのカルテで検

査実施状況や検査結果を調べて解析に使用します。

4. 研究に用いる情報の種類

患者 ID、患者氏名、レジメン名、処方薬剤、薬剤投与日、検査実施日、HBs 抗原、HBs 抗体、HBc 抗体、HBV DNA 定量、血液検査結果（肝機能、腎機能、血球数）

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：薬剤部 教授・薬剤部長 石井伊都子

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院薬剤部において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

薬剂部 薬剂師 早川美菜子

0 4 3 (2 2 2) 7 1 7 1 内線 71884